

平成29年度定時総会資料

平成29年6月14日

東三河懇話会

平成29年6月14日（水）午後3時～6時  
於：ホテルアークリッシュ豊橋

東三河懇話会  
平成29年度定時総会次第

午後3:00～3:45 **定時総会** 5階「ザ・グレイス」  
議案1. 平成28年度事業報告並びに収支決算報告の件  
議案2. 平成29年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の件  
議案3. 規約変更の件  
議案4. 役員変更の件

午後3:50～4:50 **記念講演** 5階「ザ・グレイス」  
講師：国土交通事務次官 武藤 浩氏  
演題：「これからの国土交通政策  
～観光振興・社会資本整備を中心に～」

（移動）

午後5:00～6:00 **交流懇親パーティ** 4階「ザ・テラスルーム」

議 案 1. 平成 2 8 年度事業報告並びに収支決算報告の件

## 東三河懇話会

### 平成 2 8 年度事業報告

自 平成 2 8 年 4 月 1 日

至 平成 2 9 年 3 月 3 1 日

平成 2 8 年は社会・産業界の両面において激動の 1 年でした。イギリスの EU 離脱、トランプ新大統領の誕生、ヨーロッパにおける極右政党の台頭など、既存政治からの脱却、社会構造の変化を求める動きが顕著に現れました。また、産業界では人工知能（AI）に関する技術、モノのインターネット（IoT）化の急速な進歩により、全世界を巻き込んだ構造変革が進み、ビジネススピードの劇的な変化が予測されます。

一方、国内においては、安倍内閣による金融政策、財政出動が、企業の業績改善、失業率の低下、賃上げに貢献し、緩やかながらデフレ脱却に向け歩みを進めました。しかしながら先行きの不透明感は依然として強く、企業においては設備投資に弾みがつき難く、個人消費も低迷する状況が続きました。

東三河に目を向けますと、平成 2 8 年 2 月に愛知県内の新東名高速道路が開通しました。二本の高速道路により渋滞が緩和されると共に、観光客数も増加し、沿線には新たな企業の立地が進展しました。また、三河港の自動車貿易も順調に推移する中、7 月に開催された「海フェスタ東三河」には 1 0 0 万人を超える来場者があり、物流拠点であった三河港が、アミューズメントエリアとして動き出した年でもありました。

平成 2 8 年度の当会の活動を振り返りますと、1 月の新春懇談会を東三河 8 市町村長による懇談会として開催し、「これからの東三河の姿（連携と協働）」をテーマにご討議いただきました。また、産学官交流サロンにおきましては、石原副知事に県政を巡る動きについてご講演いただいた他、1 2 月には東三河 3 商工会議所の会頭によるパネルディスカッションを行い、地域の連携、産学官の交流を進めてまいりました。また、午さん交流会では各界・各地域の取り組みを紹介いたしました。蒲郡市、田原市にて開催し、現地での交流も図りました。その他には、「幹線道路計画説明会」「三河港事業計画等説明会」「核燃料サイクル関連施設視察会」等、地域の基盤整備に繋がる交流機会および勉強の場を設けてきました。

引き続き、平成 2 9 年度も会員の皆様のニーズを受け止め、地域を繋ぎ、産学官交流の質の向上を目指してまいりますので、会員各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。

## (1) 重点戦略事業

### ①東三河の産学官交流・広域連携のサポート、三遠南信地域連携ビジョンの推進

東三河産学官交流サロン、東三河午さん交流会等の事業を通じて、交流の場の提供と地域連携の推進を担う役割を果たしてきた。

### ②東三河広域連合、東三河広域経済連合会との連携

東三河地域研究センターと共同でシンクタンク機能をフル活用して、政策提言、ビジョン策定支援などで緊密な連携、協力を実施した。

## (2) 広域連携事業

### ①国際自動車コンプレックス研究会

第19期目の研究活動を継続している。「第14回高等学校エコカーレース総合大会」の共催、研究交流会、国内視察会などを開催した。(詳細後記)

### ②三遠南信サミット2017 in 南信州

平成29年2月に、長野県飯田市で行われた第24回三遠南信サミットに参加し、三遠南信地域の連携・交流に協力した。

### ③三河港振興会、豊かな海“三河湾”環境再生推進協議会、伊勢湾再生海域検討会

三河港湾関係諸団体の活動に参画、協力した。

## (3) 産学官民交流事業

### ①東三河産学官交流サロン(12回/年)

12回開催した。地元各大学からの講師のほか、地域で活躍されている経済人などを講師としてお招きして、産学官民の交流連携、情報交換の場を提供した。

(第378回～389回 詳細後記)

### ②東三河午さん交流会(10回/年)

10回開催した。地域に密着したさまざまな話題をピックアップして、東三河においての文化的、芸術的活動を实践・貢献されている方々を紹介した。

(第161回～170回 詳細後記)

### ③東三河8市町村長を囲む新春懇談会

新春恒例の東三河の全市町村長によるパネルディスカッションを実施し、「これからの東三河の姿～連携と協働～」をメインテーマとして、東三河のこれからの姿の展望についての活発な議論が行われた。

(詳細は、会報MIKAWA—NAVI特別号に掲載)

### ④視察会

7月「青森県六ヶ所村 核燃料サイクル関連施設視察会」を実施した。(詳細後記)

#### (4) 会員サービス事業

##### ①三河港関連事業整備計画・東三河地区幹線道路整備計画の説明会

平成28年6月に「三河港関連事業計画等説明会」を三河港振興会と共催した。  
同じく6月に「東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会」を三河港振興会と共催した。  
(詳細後記)

##### ②東三河地域問題セミナー

(公社)東三河地域研究センターの主催で2回、さらに平成29年3月に、地域関連研究発表会を開催、運営協力をした。  
(詳細後記)

##### ③広報

会報誌MIKAWA-NAVI(季刊)の発行。新春特別版の発行。  
ホームページによる広報。URL：<http://www.konwakai.jp>

#### (5) 会員増強

##### ○新入会

[法人会員] 1口

・中部ホームサービス(株)

(敬称略)

## 運営の部

### 1. 定時総会・記念講演会

平成28年6月14日（火）午後3：00～6：15

於：ホテルアークリッシュ豊橋

#### ・議事

議案1. 平成27年度事業報告並びに収支決算報告の件

議案2. 平成27年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の件

議案3. 任期満了に伴う役員改選に関する件

#### ・記念講演 静岡県知事 川勝 平太氏

「ポスト東京時代の富国有徳の理想郷“ふじのくに”を創る」

(詳細後記)

### 2. 理事会

平成28年5月25日（水）午前11：00～12：00

於：ホテルアークリッシュ豊橋

### 3. 会員数及び口数の状況

(1) 入会	法人会員	1社	( 1口)
退会	法人会員	4社	( 5口)

#### (2) 平成29年3月31日現在会員数

法人会員	146社	(179口)
個人会員	2名	( 2口)
特別会員	12団体	( 28口)
推薦会員	2名	—

## 資料（事業の詳細）

### 1. 国際自動車コンプレックス研究会 活動状況

(1) 第14回高等学校エコカーレース総合大会（H28.6.5 於：ユタカ自動車学校 特設コース）

出走台数：エコハイクラス部門 8 台、オープンクラス部門 22 台、充電池部門 6 台

来場者数：400 人

（※レース当日は朝から雨天であり、競技中止の判断がなされたが、天気が回復したため、路面整備後、記録会として開催された。）

(2) 第 46 回研究交流会（H28.7.4 於：ホテルアークリッシュ豊橋 4 階テラスルーム）

講 師：経済産業省 中部経済産業局 産業部製造産業課 課長 柳原和男氏

演 題：「中部地域の自動車関連産業の動向と中部経済産業局における取組について」

出席者：38 名

(3) 海フェスタ 三河港自動車シンポジウム

三河港から世界へ、そして未来へ ～自動車とともに発展する三河港～ [三河港振興会と共催]

(H28.7.24 14:00～17:00 於：ライフポートとよはし 中ホール)

講演 1：トヨタ自動車(株) 先進技術統括部 主幹 三谷和久氏

演 題：「燃料電池自動車の開発意義と水素社会実現に向けた取組」

講演 2：レーシングドライバー・慶應義塾大学大学院 特任教授 井原慶子氏

演 題：「本気の挑戦 -時速 330km の世界から見えること-」

<パネルディスカッション>

[ナビゲーター] 飯田裕子氏（モータージャーナリスト）

[パネリスト] 井原慶子氏（レーシングドライバー・慶應義塾大学大学院特任教授）

渡辺慎太郎氏（カーグラフィック編集長）

森 悌司氏（中日本高速道路(株)計画調整担当部長）

佐原光一氏（三河港振興会会長・豊橋市長）

参加者：300 名

(4) 第 47 回研究交流会（H28.9.6 於：豊橋市民センター（カリオンビル）6 階多目的ホール）

講 師：国土交通省 中部地方整備局 港湾物流企画室長 赤石正廣氏

演 題：「国際コンテナ戦略港湾政策と中部地域の港湾における連携」

出席者：54 名

(5) 第 48 回研究交流会（H28.10.27 於：ホテルアークリッシュ豊橋 4 階テラスルーム）

講 師：経済産業省 大臣官房企画官 製造産業局 自動車課 自動車リサイクル室長

保坂 明氏

演 題：「自動車リサイクル制度の現状と今後について

～産構審・中環審合同会議報告書を踏まえた各種取組み～

出席者：40 名

(6) 第18期報告総会・記念講演会 (H28.12.9 於: ホテルアークリッシュ豊橋 5階グレイス)

・記念講演会

講 師: 政策研究大学院大学 客員教授 井上聰史氏

演 題: 「グローバル化時代の港湾 -我が国の港湾の成長戦略-

出席者: 43名



## 2. 講演会、懇談会等

- (1) 総会・記念講演会 (H28. 6. 14 於：ホテルアークリッシュ豊橋)  
講 師：静岡県知事 川勝平太氏  
演 題：「ポスト東京時代の富国有徳の理想郷“ふじのくに”を創る」  
出席者：総会 114 名、講演会 152 名、懇親会 116 名
- (2) 平成 28 年度 三河港関連事業計画等説明会 [三河港振興会と共催]  
(H28. 6. 21 13:30~15:00 於：ライフポートとよはし 中ホール)  
・平成 28 年度 三河港関連事業計画等説明  
講 師：国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所 所長 鈴木信昭氏  
愛知県 三河港務所 所長 佐守真人氏  
愛知県 三河港工事事務所 所長 野々山宜尚氏  
参加者：75 名
- (3) 平成 28 年度 東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会 [三河港振興会と共催]  
(H28. 6. 29 14:30~16:30 於：穂の国とよはし芸術劇場 P L A T)  
・平成 28 年度 東三河地区幹線道路整備計画説明  
講 師：国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所 所長 宮内秀弘氏  
国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所 所長 尾藤文人氏  
中日本高速道路(株) 豊川工事事務所 所長 村上修一氏  
愛知県 東三河建設事務所 道路整備課長 鶴 悦露氏  
愛知県 新城設楽建設事務所 所長 石川博英氏  
参加者：109 名
- (4) 海フェスタ クルーズ船セミナー ―クルーズ船の魅力について― [三河港振興会と共催]  
(H28. 7. 26 13:30~16:00 於：豊橋商工会議所 9 階大ホール)  
講演 1：広島大学大学院 教授 フンク カロリン氏  
演 題：「クルーズ船と港湾地域の活性化 ―瀬戸内海を事例として―」  
講演 2：アスカクラブ 会長 幡野保裕氏  
演 題：「『飛鳥』元キャプテンが語るクルーズ船の魅力」  
参加者：163 名
- (5) 特別講演会 (H28. 9. 16 15:00~17:00 於：ホテルアークリッシュ豊橋 5 階グレイス)  
テーマ：「東三河への想いとリーダーの条件」  
講 師：危機管理専門家・航空評論家 小林宏之氏  
参加者：92 名
- (6) (公社)東三河地域研究センター 総会記念講演会 (東三河産学官交流サロンと共催)  
・通常総会 (H28. 11. 24 18:00~20:30 於：ホテルアークリッシュ豊橋)  
テーマ：「地方創生『円卓の地域主義』と東三河の未来」  
講 師：飯田市長 牧野光朗氏  
参加者：116 名

### 3. 東三河産学官交流サロン (公社)東三河地域研究センターと共催

(年12回、毎月第3火曜日を原則 18:00~20:30 於:ホテルアークリッシュ豊橋)

第378回 4.19(火) 参加者78名

- ・豊橋創造大学大学院 健康科学研究科長・教授 後藤勝正氏  
「健康を科学するー社会人が働きながら学べる大学院として文部科学省ならびに厚生労働省から認定を受けてー」
- ・財務省 名古屋税関 豊橋税関支署長 山崎和之氏  
「最近の税関行政についてー伊勢志摩サミット テロ防止対策実施中ー」

第379回 5.18(水) 参加者83名

- ・愛知大学 学長・理事長 川井伸一氏  
「愛知大学のブランド力向上のために」
- ・ジャパン・トゥエンティワン(株) 代表取締役社長 加藤 充氏  
「ユダヤ的発想、日本的発想、そして東三河的発想」

第380回 6.22(水) 参加者101名

- ・社会人キャリアアップ連携協議会 会長/豊橋技術科学大学 前学長 榊 佳之氏  
「ひとを育て、まちを創る ~社会人キャリアアップ連携協議会が目指すもの~」
- ・(株)ラグナマリーナ 代表取締役社長 西本 洋氏  
「“ラグーナ蒲郡地区”今後のまちづくり」

第381回 7.12(火) 参加者93名

- ・豊橋技術科学大学 国際戦略本部副本部長/スーパーグローバル大学推進室長 教授 高嶋孝明氏  
「グローバル化は日本を、大学を、東三河を救うのか?」
- ・愛知芸術文化センター センター長/あいちトリエンナーレ実行委員会事務局長 青木幹晴氏  
「ええじゃないか あいちトリエンナーレ2016」

第382回 8.24(水) 参加者103名

- ・浜松学院大学 学長 石田勝義氏  
「地域に愛される頼もしい大学であり続ける」
- ・JFEエンジニアリング(株) アクアソリューション本部 国内事業部営業部長 橋本恭彦氏  
「豊橋市バイオマス資源利活用施設 PFI 事業~国内最大複合バイオマスエネルギー化施設~」

第383回 9.13(火) 参加者81名

- ・愛知大学大学院 法科大学院長/法務研究科長・教授 伊藤博文氏  
「ハワイと日本人」
- ・(株)フェニックス 代表取締役社長 浜武恭生氏  
「エンジニアからプロスポーツ経営者へ ~バスケットボールを切り口とした街づくりへのチャレンジ~」

第384回 10.18(火) 参加者86名

- ・愛知工科大学 工学部 電子制御・ロボット工学科 教授 舘山武史氏  
「産業システムの効率化のための機械学習技術」

- ・(公財)あいち産業振興機構 理事長 森 鋭一 氏  
愛知県よろず支援拠点豊橋サテライト チーフコーディネーター 松井督卓氏  
「よろず支援拠点豊橋サテライトの概要と支援事例」

第 385 回 11. 24 (木) 参加者 116 名

※(公社)東三河地域研究センター総会記念講演会と合同開催

- ・飯田市長 牧野光朗氏  
「地方創生『円卓の地域主義』と東三河の未来」

第 386 回 12. 21(水) 参加者 123 名

・<パネルディスカッション>

「東三河 3 商工会議所会頭を囲んで」

[パネリスト]

豊橋商工会議所会頭/㈱サーラコーポレーション 代表取締役社長 神野吾郎氏

豊川商工会議所会頭/㈱トヨタック 代表取締役社長 小野喜明氏

蒲郡商工会議所会頭/小池商事(株) 代表取締役社長 小池高弘氏

[コーディネーター]

愛知大学地域政策学部 教授 戸田敏行氏

第 387 回 1. 17(火) 参加者 101 名

- ・豊橋技術科学大学 副学長 原 邦彦氏  
「データで見る豊橋技術科学大学の今と技術科学イノベーション研究機構について  
～設立の狙いと活動内容～」
- ・愛知県 副知事 石原君雄氏  
「最近の県政を巡る動き」

第 388 回 2. 21(火) 参加者 93 名

- ・愛知大学 副学長 田本健一氏  
「英米・国名都市名物語」
- ・国土交通省 中部地方整備局 設楽ダム工事事務所 事務所長 岩崎 等氏  
「ダムを活用した地域活性化」

第 389 回 3. 14(火) 参加者 98 名

- ・豊橋技術科学大学 環境・生命工学系 教授 平石 明氏  
「生物学からみた資本主義の特性と矛盾」
- ・イノチオみらい(株) 代表取締役社長 大門弘明氏  
「ミニトマト 3. 6 h a 生産圃場 次世代施設園芸 愛知県拠点の取組」

#### 4. 東三河午さん交流会 (公社)東三河地域研究センターと共催

(年10回、5、1月を除く毎月第1金曜日を原則 11:30~13:00)

第161回 4.01(金) 参加者32名

・NPO法人三河ダルク 代表 松浦良昭氏

「薬物依存の現状と三河ダルクの取り組みについて」

第162回 6.03(金) 参加者45名

・海フェスタ東三河実行委員会 事務局長 坂神 浩氏

「海フェスタ東三河について」

第163回 7.01(金) 参加者42名

・亀若倶楽部 事務局長 原菌義秀氏

「亀若焼酎で地域起こし」

第164回 8.05(金) 参加者60名

・NPO法人With 理事長/(株)渥美フーズ 代表取締役会長 渡会一昭氏

「渥美半島の再生について」

第165回 9.02(金) 参加者39名

・豊橋市美術博物館 館長 毛利伊知郎氏

「現代の MUSEUM」

第166回 10.07(金) 参加者37名

・豊橋市中央図書館 専門員 岩瀬彰利氏

「戦前の豊橋 ~豊橋空襲で消えた街並み~」

第167回 11.11(金) 参加者36名

・社会福祉法人さわらび会 障害福祉サービス事業所 明日香 管理者 井川 襄氏

「福祉村と福祉村周辺の歴史と自然」

第168回 12.02(金) 参加者33名

・愛知県自然観察指導員 小椋克好氏

「ウナギのふしぎ」

第169回 2.03(金) 参加者34名

・蒲郡市 ボートレース事業部事業課長 藤川弘行氏

「ボートレース蒲郡 施設見学会」

第170回 3.03(金) 参加者44名

・奥三河ふるさとガイド/あいち観光ボランティアガイドの会 理事 高田孝典氏

「おんな城主直虎と三遠国境」

## 5. 平成29年 東三河8市町村長を囲む新春懇談会

(H29.1.6 於：ホテルアークリッシュ豊橋)

テーマ：「これからの東三河の姿 ～連携と協働～」

内 容：東三河8市町村長によるパネルディスカッション

パネリスト

豊橋市長	佐原光一氏
豊川市長	山脇 実氏
蒲郡市長	稲葉正吉氏
新城市長	穂積亮次氏
田原市長	山下政良氏
設楽町長	横山光明氏
東栄町長	村上孝治氏
豊根村長	伊藤 実氏

コーディネーター

豊橋技術科学大学 学長 大西 隆氏

参加者：252名

## 6. 視察会、セミナー

### (1) 国内視察会の開催

・青森県六ヶ所村 核燃料サイクル関連施設 他 視察会 (H28.7.6～7)

視察先：日本原燃(株) 再処理工場、高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 他

参加者：21名

## 7. 東三河地域問題セミナー (主催：(公社)東三河地域研究センター)

### (1) 第3回公開講座(H28.6.8 於：豊橋市民センター(カリオンビル)6階多目的ホール)

講演1：「気候エネルギー自治を通じた地域創生ー日本版『首長誓約』」

講 師：名古屋大学大学院環境学研究科附属 持続的共発展教育研究センター

特任准教授 杉山範子氏

講演2：「2016年 電力の自由化と地域『電気を選ぶ時代』」

講 師：特定非営利活動法人地域の未来・志援センター 理事 萩原喜之氏

参加者：37名

### (2) 第4回公開講座(H28.7.11 於：ホテルアークリッシュ豊橋4階 テラスルーム)

演 題：「今求められる地域政策はなにか～地方創生から見えた課題と今後の展開～」

講 師：首都大学東京 都市教養学部 准教授 山下祐介氏

参加者：59名

## 8. 東三河地域関連研究発表会 (主催：(公社)東三河地域研究センター)

### (1) 第23回地域関連研究発表会 (H29.3.15 於：名豊ビル7階 ホールAB)

参加者：44名

## 9. 各種団体、調査委員会等への参加、協力

- (1) (一社) 中部経済連合会
- (2) (公財) 中部圏社会経済研究所
- (3) (一財) 東海産業技術振興財団
- (4) (一社) 奥三河ビジョンフォーラム
- (5) 愛知県港湾協会
- (6) 三河港振興会
- (7) 豊かな海“三河湾”環境再生推進協議会
- (8) 伊勢湾再生海域検討会
- (9) 東三河生態系ネットワーク協議会
- (10) (NPO) 穂の国森づくりの会
- (11) (NPO) 朝倉川育水フォーラム
- (12) 東三河流域フォーラム
- (13) 一般国道151号改良促進期成同盟会
- (14) 豊橋みなとフェスティバル実行委員会
- (15) (一社) 豊橋観光コンベンション協会
- (16) (公財) 豊橋市国際交流協会
- (17) (公財) 豊橋文化振興財団
- (18) 豊橋日独協会
- (19) とよはし市電を愛する会
- (20) 豊橋市民愛市憲章推進協議会
- (21) 530運動環境協議会
- (22) 愛知県地球温暖化防止活動推進センター

平成28年度  
収 支 決 算 書  
(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

収入決算額	34,408,879円
支出決算額	32,599,203円
差引残高	1,809,676円

《 収 入 の 部 》

(単位：円)

科 目	予算額(1)	決算額(2)	差異(2)-(1)	予算比	備 考
<b>1. 会費収入</b>	24,144,000	23,844,000	△ 300,000	98.8%	
1)法人会費	21,720,000	21,420,000	△ 300,000	98.6%	
2)個人会費	240,000	240,000	0	100.0%	
3)特別会費	2,184,000	2,184,000	0	100.0%	
<b>2. 事業収入</b>	6,590,000	6,922,025	332,025	105.0%	
1)産学官交流サロン	4,280,000	4,364,030	84,030	102.0%	
2)午さん交流会	1,340,000	1,288,361	△ 51,639	96.1%	
3)新春懇談会	850,000	900,000	50,000	105.9%	
4)その他の事業	120,000	369,634	249,634	308.0%	
<b>3. その他の収入</b>	1,905,000	1,900,853	△ 4,147	99.8%	
1)特定預金取崩収入		0	0	0.0%	
①減価償却引当特定預金		0	0	0.0%	
2)雑収入	1,905,000	1,900,853	△ 4,147	99.8%	
①受取利息	5,000	853	△ 4,147	17.1%	
②雑収入	1,900,000	1,900,000	0	100.0%	
<b>当期収入合計</b>	32,639,000	32,666,878	27,878	100.1%	(A)
<b>前期繰越収支差額</b>	1,742,001	1,742,001	0	100.0%	
<b>収入合計</b>	34,381,001	34,408,879	27,878	100.1%	(B)

《 支 出 の 部 》

(単位：円)

科 目	予算額(1)	決算額(2)	差異(2)-(1)	予算比	備 考
<b>1. 運営事業費</b>	2,000,000	2,041,658	41,658	102.1%	
1) 総会・理事会費	750,000	854,857	104,857	114.0%	
2) 広報費	1,150,000	1,107,439	△ 42,561	96.3%	会報誌発行・郵送等
3) 講演・説明会費	100,000	79,362	△ 20,638	79.4%	
<b>2. 事業費</b>	6,350,000	7,045,701	695,701	111.0%	
1) 産学官交流サロン	4,080,000	4,483,078	403,078	109.9%	
2) 午さん交流会	1,300,000	1,281,074	△ 18,926	98.5%	
3) 新春懇談会	850,000	993,113	143,113	116.8%	
4) その他の事業	120,000	288,436	168,436	240.4%	
<b>3. 調査・研究費</b>	11,648,000	11,266,785	△ 381,215	96.7%	
1) 調査・研究費	8,048,000	7,948,000	△ 100,000	98.8%	研究センター分(会費の1/3)
2) 研究・活動費	3,600,000	3,318,785	△ 281,215	92.2%	
<b>4. 管理費</b>	12,546,000	12,088,794	△ 457,206	96.4%	
1) 給料手当	5,500,000	5,468,722	△ 31,278	99.4%	
2) 福利厚生費	1,120,000	1,035,369	△ 84,631	92.4%	
① 福利厚生費	230,000	167,985	△ 62,015	73.0%	
② 法定福利費	870,000	867,384	△ 2,616	99.7%	
3) 会議費	20,000	14,310	△ 5,690	71.6%	
4) 旅費交通費	216,000	152,390	△ 63,610	70.6%	
5) 通信運搬費	624,000	491,453	△ 132,547	78.8%	通信機器リース料含む
6) 消耗品費	600,000	545,079	△ 54,921	90.8%	
① 消耗什器備品費		0	0	0.0%	
② 消耗品費	600,000	545,079	△ 54,921	90.8%	OA機器リース料含む
7) 修繕費	0	0	0	0.0%	
8) 印刷製本費	150,000	114,858	△ 35,142	76.6%	総会資料・会員名簿等
9) 新聞・図書費	218,000	214,632	△ 3,368	98.5%	
10) 水道光熱費	260,000	231,500	△ 28,500	89.0%	
11) 賃借料	3,384,000	3,383,988	△ 12	100.0%	事務所賃借料
12) 交際費	60,000	40,763	△ 19,237	67.9%	
13) 諸会費	354,000	354,000	0	100.0%	他団体の年会費等
14) 雑費	60,000	41,730	△ 18,270	69.6%	
<b>5. その他の支出</b>	56,265	156,265	100,000	277.7%	
1) 固定資産購入支出	0	0	0	0.0%	
2) 特定預金繰入支出	56,265	156,265	100,000	277.7%	
① 減価償却引当特定預金	56,265	56,265	0	100.0%	
② 事務所移転費用積立預金	0	100,000	100,000	0.0%	
<b>当期支出合計</b>	32,600,265	32,599,203	△ 1,062	100.0%	(C)
<b>当期収支差額</b>	38,735	67,675	28,940		(A) - (C)
<b>次期繰越収支差額</b>	1,780,736	1,809,676	28,940		(B) - (C)



## 貸借対照表

平成29年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	金 額	
<b>I. 資産の部</b>		
1. 流動資産		
(1)現金	29,620	
(2)預金	8,125,428	
(3)未収入金	78,454	
(4)前払金	225,792	
流動資産合計		8,459,294
2. 固定資産		
(1)基本財産		
①定期預金	2,000,000	
基本財産合計	2,000,000	
(2)その他固定資産		
①設備什器備品	464,191	
②電話加入権	213,000	
③敷金	2,688,000	
④減価償却引当特定預金	2,358,014	
⑤事務所移転費用積立預金	158,080	
その他固定資産合計	5,881,285	
固定資産合計		7,881,285
<b>資産合計</b>		<b>16,340,579</b>
<b>II. 負債の部</b>		
1. 流動負債		
(1)未払金	867,728	
(2)預り金	589,600	
流動負債合計		1,457,328
<b>負債合計</b>		<b>1,457,328</b>
<b>III. 正味財産の部</b>		
<b>正味財産</b>		
(うち基本金)		14,883,251
(うち当期正味財産減少額)		(2,000,000)
		(74,725)
<b>負債及び正味財産合計</b>		<b>16,340,579</b>

## 正味財産増減計算書

平成 28年 4月 1日から平成 29年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
<b>I. 増加の部</b>		
1. 資産増加額		
当期収支差額	67,675	
減価償却引当預金増加額	56,265	
事務所移転費用積立預金増加額	100,000	
資産増加額計		223,940
2. 負債減少額		
負債減少額	0	0
<b>増加額合計</b>		<b>223,940</b>
<b>II. 減少の部</b>		
1. 資産減少額		
什器備品減価償却額	56,265	
事務所移転積立預金減少額	241,920	
資産減少額計		298,185
2. 負債増加額		
負債増加額	0	0
<b>減少額合計</b>		<b>298,185</b>
<b>当期正味財産減少額</b>		<b>74,245</b>
<b>前期繰越正味財産額</b>		<b>14,957,496</b>
<b>期末正味財産合計額</b>		<b>14,883,251</b>

〈参 考〉

## 国際自動車コンプレックス研究会 第18期収支決算書

(自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)

### 収入の部

(単位:円)

科目	予算額(a)	決算額(b)	差異(b-a)	対予算比率(b/a)	備考
会費収入	1,480,000	1,320,000	-160,000	89%	
研究交流会収入	0	0	0	0%	
事業収入	500,000	550,000	50,000	110%	
雑収入	365	63	-302	17%	
当期収入合計	1,980,365	1,870,063	-110,302	94%	
前期繰越収支差額	265,635	265,635	0	100%	
収入合計	2,246,000	2,135,698	-110,302	95%	

### 支出の部

(単位:円)

科目	予算額(a)	決算額(b)	差異(b-a)	対予算比率(b/a)	備考
総会費	150,000	90,412	-59,588	60%	
研究交流会費	300,000	109,826	-190,174	37%	
事業費	1,250,000	1,181,505	-68,495	95%	
運営費	500,000	500,000	0	100%	
予備費	46,000	0	-46,000	0%	
当期支出合計	2,246,000	1,881,743	-364,257	84%	
次期繰越収支差額	0	253,955	253,955	0%	

## 監査報告書


東三河懇話会  
会長 吉川一弘殿

東三河懇話会の、平成28年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）収支決算書、正味財産増減計算書、貸借対照表およびその他の計算書類、関係帳簿を監査した結果、いずれも適法かつ正確であることを認めます。


平成29年5月8日

東三河懇話会

監事 豊橋信用金庫 専務理事

市川智嗣 

監事 ㈱三菱東京UFJ銀行 豊橋支社長

中谷安伸 

監事 中部電力㈱ 豊橋営業所長

近藤 仁 

議 案 2. 平成29年度事業計画(案)ならびに収支予算(案)の件

## 東三河懇話会

### 平成29年度事業計画(案)

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月31日

#### 1. 基本方針

平成27年10月の国勢調査で、調査開始以来、初めて日本の総人口が減少に転じました。東三河地域におきましては、平成20年をピークに、国に先行して減少局面を迎えており、今後は人口減少、少子高齢化が加速的に進むことが予想されています。

人口減少、少子高齢化は、労働力・消費に影響を及ぼし、社会保障制度の崩壊、地域の活力の低下をもたらします。加えて、公的な財源確保が今後一段と厳しくなる状況において、地方創生による地域づくりを進めるためには、市民・事業者による発想や事業推進力と、行政の支援・調整力を活かし、共通の認識を持った協働による内発的な活動が重要になると考えます。

東三河におきましては、東三河県庁、東三河広域連合、東三河広域経済連合会など、広域的な地域づくりの仕組みが組織されていますが、当会では「東三河産学官交流サロン」、「東三河午さん交流会」などを通して、東三河地域の連携、産学官民の交流の場を提供するとともに、官民の価値観の共有、協働に対する理解を深める勉強の機会を引き続き設けてまいります。

また、昭和43年10月に東三河開発懇話会として設立された当会は、平成30年に設立50周年を迎えます。50年にわたり事業を継続して来られたのも、偏に会員の皆様をはじめ多くの皆様のご支援のお蔭であります。50周年を重要な節目と考え、これまでの皆様からのご支援に対する感謝と今後の躍進を決意する、そのような事業を検討してまいります。

今後も皆様との結束力を高め、「東三河はひとつ」を合言葉に、この地域が、住みたい、訪れたい、学びたい、働きたいと思う「生活の都」となるよう努力いたす所存です。

#### 2. 事業計画

##### (1) 重点戦略事業

###### ①東三河の産学官交流・広域連携のサポート、三遠南信地域連携ビジョンの推進

東三河産学官交流サロン、東三河午さん交流会等の事業を通じて、交流の場の提供と地域連携の推進を図る。

###### ②東三河広域経済連合会、東三河広域連合との連携

東三河地域研究センターと共同でシンクタンク機能をフル活用して、政策提言、ビジョン策定支援などで緊密な連携を図る。

## (2) 広域連携事業

### ①国際自動車コンプレックス研究会

三河港振興会・自動車港湾委員会と連携をとりながら研究活動を継続。産学官連携活動、自動車関連観光実験の推進。防災計画、BCPの研究など「国際自動車コンプレックス計画」の推進に資する研究交流会、シンポジウム、視察会等の開催。

### ②三遠南信サミット

本年度は浜松市で行われる予定の三遠南信サミットへの参加。県境を越えた三遠南信地域の連携・交流事業に協力。

### ③三河港振興会、豊かな海“三河湾”環境再生推進協議会、伊勢湾再生海域検討会

当地の最重要インフラ三河港の発展と三河湾の環境保全等に資するため、関係諸団体との連携強化を図る。

## (3) 産学官民交流事業

### ①東三河産学官交流サロン（12回／年）

産学官民の交流連携、情報交換の場を提供。東三河の産学官の講師からタイムリーな情報を発信する。

### ②東三河午さん交流会（10回／年）

地域に密着したさまざまな話題をピックアップ。主に、東三河においての文化的、芸術的活動を実践・貢献されている方々を紹介する。

### ③東三河8市町村長を囲む新春懇談会

新春恒例の事業。東三河の全市町村長参加のパネルディスカッションにより、東三河のこれからの姿を展望する。

### ④視察会

年2回の開催を予定。「東濃地科学センター 瑞浪超深地層研究所」ほか。

## (4) 会員サービス事業

### ①三河港関連事業整備計画・東三河地区幹線道路整備計画の説明会

ともに三河港振興会と共催で6月に開催。本年度は、6月16日に港説明会、また6月27日に道路説明会の開催が決定している。

### ②東三河地域問題セミナー

東三河の今と将来を考え、地域をリードする人材育成のための基礎的、専門的な学習の場として東三河地域研究センターが主催する。会員内外に広く周知し、動員を図る。

### ③広報

会報誌MIKAWA—NAVI（季刊）の発行。新春特別版の発行。

ホームページによる広報。URL：<http://www.konwakai.jp>

④設立50周年記念事業の企画検討

平成30年10月に設立50周年を迎えることに向けて、記念事業の企画検討を進める。

**(5) 会員増強**

東三河の産学官交流の場としてのコミュニケーションセンター機能を充実させて、会員相互の交流による地域連携の有益性を訴求する。

平成29年度  
収 支 予 算 (案)  
(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

《 収 入 の 部 》

(単位：円)

科 目	平成29年度	平成28年度	平成28年度	前年	備 考
	予算額	決算額	予算額	予算比	
<b>1. 会費収入</b>	24,102,000	23,844,000	24,144,000	99.8%	
1) 法人会費	21,600,000	21,420,000	21,720,000	99.4%	180口
2) 個人会費	240,000	240,000	240,000	100.0%	2口
3) 特別会費	2,262,000	2,184,000	2,184,000	103.6%	29口
<b>2. 事業収入</b>	6,570,000	6,922,025	6,590,000	99.7%	
1) 産学官交流サロン	4,280,000	4,364,030	4,280,000	100.0%	
2) 午さん交流会	1,340,000	1,288,361	1,340,000	100.0%	
3) 新春懇談会	850,000	900,000	850,000	100.0%	
4) その他の事業	100,000	369,634	120,000	83.3%	
<b>3. その他の収入</b>	1,905,000	1,900,853	1,905,000	100.0%	
1) 特定預金取崩収入	0	0		0.0%	
① 減価償却引当特定預金	0	0		0.0%	
2) 雑収入	1,905,000	1,900,853	1,905,000	100.0%	
① 受取利息	5,000	853	5,000	100.0%	
② 雑収入	1,900,000	1,900,000	1,900,000	100.0%	
<b>当期収入合計</b>	32,577,000	32,666,878	32,639,000	99.8%	(A)
<b>前期繰越収支差額</b>	1,809,676	1,742,001	1,742,001	103.9%	
<b>収入合計</b>	34,386,676	34,408,879	34,381,001	100.0%	(B)



《 支 出 の 部 》

(単位：円)

科 目	平成29年度	平成28年度	平成28年度	前年	備 考
	予算額	決算額	予算額	予算比	
<b>1. 運営事業費</b>	2,000,000	2,041,658	2,000,000	100.0%	
1) 総会・理事会費	750,000	854,857	750,000	100.0%	
2) 広報費	1,150,000	1,107,439	1,150,000	100.0%	
3) 講演・説明会費	100,000	79,362	100,000	100.0%	
<b>2. 事業費</b>	6,330,000	7,045,701	6,350,000	99.7%	
1) 産学官交流サロン	4,080,000	4,483,078	4,080,000	100.0%	
2) 午さん交流会	1,300,000	1,281,074	1,300,000	100.0%	
3) 新春懇談会	850,000	993,113	850,000	100.0%	
4) その他の事業	100,000	288,436	120,000	83.3%	
<b>3. 調査・研究費</b>	11,514,000	11,266,785	11,648,000	98.8%	
1) 調査・研究費	8,034,000	7,948,000	8,048,000	99.8%	研究センター分(会費の1/3)
2) 研究・活動費	3,480,000	3,318,785	3,600,000	96.7%	
<b>4. 管理費</b>	12,552,000	12,088,794	12,546,000	100.0%	
1) 給料手当	5,640,000	5,468,722	5,500,000	102.5%	
2) 福利厚生費	1,120,000	1,035,369	1,100,000	101.8%	
① 福利厚生費	230,000	167,985	230,000	100.0%	
② 法定福利費	890,000	867,384	870,000	102.3%	
3) 会議費	20,000	14,310	20,000	100.0%	
4) 旅費交通費	216,000	152,390	216,000	100.0%	
5) 通信運搬費	566,000	491,453	624,000	90.7%	
6) 消耗品費	960,000	545,079	600,000	160.0%	
① 消耗什器備品費	0	0		0.0%	
② 消耗品費	960,000	545,079	600,000	160.0%	
7) 修繕費	0	0	0	0.0%	
8) 印刷製本費	150,000	114,858	150,000	100.0%	
9) 新聞・図書費	242,000	214,632	218,000	111.0%	
10) 水道光熱費	260,000	231,500	260,000	100.0%	
11) 賃借料	2,904,000	3,383,988	3,384,000	85.8%	
12) 交際費	60,000	40,763	60,000	100.0%	
13) 諸会費	354,000	354,000	354,000	100.0%	
14) 雑費	60,000	41,730	60,000	100.0%	
<b>5. その他の支出</b>	156,265	156,265	56,265	277.7%	
1) 固定資産購入支出	0	0	0	0.0%	
2) 特定預金繰入支出	156,265	156,265	56,265	277.7%	
① 減価償却引当特定預金	56,265	56,265	56,265	100.0%	
② 事務所移転費用積立預金	100,000	100,000	0	0.0%	
<b>当期支出合計</b>	32,552,265	32,599,203	32,600,265	99.9%	(C)
<b>当期収支差額</b>	24,735	67,675	38,735		(A) - (C)
<b>次期繰越収支差額</b>	1,834,411	1,809,676	1,780,736		(B) - (C)

〈参 考〉

## 国際自動車コンプレックス研究会 第19期収支予算書

(自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)

収入の部 (単位:円)

科目	第19期予算	第18期予算	第18期決算	備考
会費収入	1,320,000	1,480,000	1,320,000	
研究交流会収入	0	0	0	
事業収入	500,000	500,000	550,000	
雑収入	45	365	63	
当期収入合計	1,820,045	1,980,365	1,870,063	
前期繰越収支差額	253,955	265,635	265,635	
収入合計	2,074,000	2,246,000	2,135,698	

支出の部 (単位:円)

科目	第19期予算	第18期予算	第18期決算	備考
総会費	150,000	150,000	90,412	
研究交流会費	200,000	300,000	109,826	
事業費	1,200,000	1,250,000	1,181,505	
運営費	500,000	500,000	500,000	
予備費	24,000	46,000	0	
当期支出合計	2,074,000	2,246,000	1,881,743	
次期繰越収支差額	0	0	253,955	

議 案 3. 規約変更の件

現行規約	変更案
<p>第1条（名称及び所在地）</p> <p>本会は、東三河懇話会（英文名：HIGASHI MIKAWA Sustainable Development Conference）と称し、その事務所を豊橋市駅前大通2丁目46番地名豊ビル内に置く。</p> <p>第5条（入会）</p> <p>入会希望者は、会員2人以上の紹介により、常任理事会の承認を得なければならない。但し特別会員並びに推薦会員は常任理事会の推薦による。</p>	<p>第1条（名称及び所在地）</p> <p>本会は、東三河懇話会（英文名：HIGASHI MIKAWA Sustainable Development Conference）と称し、その事務所を愛知県豊橋市に置く。</p> <p>第5条（入会）</p> <p>入会希望者は、常任理事会の承認を得なければならない。</p>

議 案 4. 役員変更の件

役 職	前 任	新 任
副会長	前豊川信用金庫顧問 日比 嘉男	(日比氏は特別顧問に就任)
常任理事	鈴与(株)取締役豊橋支店長 柳川 明	鈴与(株)豊橋支店長 秋山 博則
同	(株)総合開発機構代表取締役社長 岩佐 朝実	(株)総合開発機構代表取締役社長 小林 宏之
同	中部電力(株)執行役員岡崎支店長 市川 弥生次	中部電力(株)執行役員岡崎支店長 岡本 祥一
同	(前任不在)	豊川信用金庫理事長 半田 富男
同	トヨタ自動車(株)常務理事田原工場長 朝倉 正司	トヨタ自動車(株)常務理事田原工場長 牛尾 理
同	ヤマサちくわ(株)取締役相談役 佐藤 元彦	ヤマサちくわ(株)代表取締役社長 佐藤 元英
理事	(株)トーエネック豊橋営業所長 岡本 正二	(株)トーエネック岡崎支店営業部部長 伊藤 芳幸
同	(株)三井住友銀行 豊橋支店長 北澤 裕司	(株)三井住友銀行 豊橋支店長 松田 秀峰
監事	(株)三菱東京UFJ銀行豊橋支社長 木村 雄一	(株)三菱東京UFJ銀行豊橋支社長 中谷 安伸
同	中部電力(株)豊橋営業所長 伊藤 芳幸	中部電力(株)豊橋営業所長 近藤 仁

## 東三河懇話会役員名簿（案）

会 長	豊橋信用金庫 <b>会長</b>	吉川一弘
副会長	(株)サーラコーポレーション 代表取締役社長	神野吾郎
同	(株)トヨタック 代表取締役社長	小野喜明
同	小池商事(株) 代表取締役社長	小池高弘
同	本多プラス(株) 会長	本多克弘
同	中部ガス(株) 代表取締役会長	中村捷二
専任理事		伊藤恵祐
常任理事	(株)アイセロ 代表取締役社長	牧野 涉
同	(株)オノコム 代表取締役会長	小野喬四朗
同	蒲郡信用金庫 理事長	竹田知史
同	(株)サイエンス・クリエイト 代表取締役専務	原田公孝
同	新東工業(株) 特別顧問	川合悦藏
同	<b>鈴与(株) 豊橋支店長</b>	<b>秋山博則</b>
同	<b>(株)総合開発機構 代表取締役社長</b>	<b>小林宏之</b>
同	総合ポートサービス(株) 代表取締役社長	柴田忠男
同	(株)大三コーポレーション 代表取締役社長	松井英治郎
同	(株)田村組 代表取締役会長	田村幹洋
同	<b>中部電力(株) 執行役員 岡崎支店長</b>	<b>岡本祥一</b>
同	(株)デンソー 豊橋製作所長	古海盛昭
同	トピー工業(株) 豊橋製造所長	加納愛仁
同	<b>豊川信用金庫 理事長</b>	<b>半田富男</b>
同	<b>トヨタ自動車(株) 常務理事田原工場長</b>	<b>牛尾 理</b>
同	豊橋鉄道(株) 代表取締役社長	伊藤正雄
同	豊橋三菱ふそう自動車販売(株) 代表取締役社長	鈴木伊能勢
同	名古屋鉄道(株) <b>常務取締役不動産事業本部長</b>	高崎裕樹
同	西島(株) 代表取締役社長	西島 豊
同	西日本電信電話(株) <b>名古屋支店ビジネス営業本部東三河営業支店長</b>	鈴木由和
同	日東電工(株) 豊橋事業所長	中野正則
同	フォルクスワーゲングループジャパン(株) 監査役	菊地啓一
同	(株)ほの国百貨店 代表取締役社長	牧野浩志
同	<b>三菱ケミカル(株) 執行役員豊橋事業所長</b>	宮森隆雄
同	<b>ヤマサちくわ(株) 代表取締役社長</b>	<b>佐藤元英</b>
理 事	アオキトランス(株) 取締役社長	遠藤 修
同	岡崎信用金庫 理事長	大河原 誠

同	鹿島建設(株) 執行役員 中部支店長	片山 豊
同	ガステックサービス(株) ホテルアークリッシュ豊橋総支配人	宮川直樹
同	川北電気工業(株) 取締役社長	大津正己
同	(株)静岡銀行 豊橋支店長	木野章博
同	(株)清水銀行 取締役会長	山田訓史
同	清水建設(株) 専務執行役員名古屋支店長	岩川千行
同	鈴与(株) 取締役 <b>会長</b>	鈴木與平
同	(株)総合開発機構 専務取締役	今泉 悟
同	総合埠頭(株) 代表取締役社長	山口皓三
同	大成建設(株) <b>専務</b> 執行役員名古屋支店長	近藤昭二
同	(株)田中屋 代表取締役	田中正治郎
同	(株)中日新聞社 代表取締役会長	白井文吾
同	(株)中部 代表取締役社長	石原 裕
同	中部電力(株) <b>顧問</b>	川口文夫
同	東海CS(株) 代表取締役社長	富田茂充
同	<b>(株)トーエネック 岡崎支店営業部 部長</b>	<b>伊藤芳幸</b>
同	トピー海運(株) 代表取締役社長	小田川雅一
同	(株)名古屋銀行 取締役頭取	中村昌弘
同	名古屋鉄道(株) 代表取締役社長	安藤隆司
同	日本通運(株) 豊橋支店長	倉地勝彦
同	<b>(株)三井住友銀行 豊橋支店長</b>	<b>松田秀峰</b>
同	三井住友信託銀行(株) 豊橋支店長	大冨哲夫
同	ユタカコーポレーション(株) 代表取締役副会長	磯村博宣
監 事	豊橋信用金庫 専務理事	市川智嗣
同	<b>(株)三菱東京UFJ銀行 豊橋支社長</b>	<b>中谷安伸</b>
同	<b>中部電力(株) 豊橋営業所長</b>	<b>近藤 仁</b>

常任相談役

サーラグループ 名誉顧問

神野信郎

(敬称略)

## 東 三 河 懇 話 会

〒440-0888 豊橋市駅前大通3-53 太陽生命豊橋ビル2階

TEL (0532)55-5141 FAX (0532)56-0981

E-mail [info@konwakai.jp](mailto:info@konwakai.jp)

URL <http://www.konwakai.jp>